

令和6年度第11回合同教育研究会議議事概要

1 開催日時

令和7年3月13日 13時00分～14時30分

2 場所

本部棟3階 特別会議室

3 出席者

鈴木学長、高橋副学長兼教育支援本部長兼教学IRセンター長、
亀田副学長兼研究・地域連携本部長、鈴木副学長兼事務局長、
三上学生支援本部長、猪股企画本部長、高橋高等教育推進センター長、
工藤看護学部長、中谷社会福祉学部長、高田ソフトウェア情報学部長、
Tee総合政策学部長、川崎盛岡短期大学部長、長坂生活科学科長、
伊藤国際文化学科長、田中宮古短期大学部長、大志田経営情報学科長、
宮本委員（学外委員：岩手大学人文社会科学部教授）、
永富委員（学外委員：東北大学産学連携機構特任教授）

[オブザーバー]

加藤教育支援室長、松崎学生支援室長、藤村研究・地域連携室長、
佐藤企画室長、吉田人事給与課長

[事務局]

森主幹、伊藤主任主査

4 会議の概要

審議事項

(1) 岩手県立大学副専攻規程の一部改正について

高橋高等教育推進センター長から、資料に基づき説明があった。

委員からプロジェクト演習の変更内容について質問があり、高田ソフトウェア情報学部長から、2・3年次に開講しているプロジェクト演習を2年次のみの開講に変更するものであるとの説明があった。

審議の結果、原案のとおり承認された。

(2) 岩手県立大学学則の一部を改正する学則案について

高橋教育支援本部長から、資料に基づき説明があった。

審議の結果、原案のとおり承認された。

(3) 岩手県立大学履修規程の一部を改正する規程案について

高橋教育支援本部長から、資料に基づき説明があった。

審議の結果、原案のとおり承認された。

(4) 岩手県立大学大学院学則の一部を改正する学則案について

高橋教育支援本部長から、資料に基づき説明があった。

審議の結果、原案のとおり承認された。

- (5) 岩手県立大学大学院ソフトウェア情報学研究科履修規程の一部を改正する規程案について
高橋教育支援本部長から、資料に基づき説明があった。
審議の結果、原案のとおり承認された。
- (6) カリキュラム・ポリシーの一部改正について
高橋教育支援本部長から、資料に基づき説明があった。
審議の結果、原案のとおり承認された。
- (7) アセスメント・ポリシーの一部改正について
高橋教育支援本部長から、資料に基づき説明があった。
審議の結果、原案のとおり承認された。
- (8) 学生サポートサロンの組織化に係る規程の制定について
三上学生支援本部長から、資料に基づき説明があった。
委員から、岩手県立大学学生サポートセンター規程案の第3条第2項に規定されている相談員に、公認心理師を追加するよう発言があった。
審議の結果、第3条第2項に公認心理師を追加することとし、その他の箇所は原案のとおり承認された。
- (9) 「公立大学法人岩手県立大学障がい理由とする差別の解消の推進に関する教職員対応規程」案について
三上学生支援本部長から、資料に基づき説明があった。
委員から、規程制定の次の段階として、必要な対応を学内に浸透させるための取組を進めてほしいとの発言があり、三上学生支援本部長から、FDの実施などを検討するとの発言があった。
審議の結果、原案のとおり承認された。
- (10) 「公立大学法人岩手県立大学研究倫理審査規程」の一部改正について
亀田研究・地域連携本部長から、資料に基づき説明があった。
審議の結果、原案のとおり承認された。
- (11) 「岩手県立大学研究活動方針」の策定について
亀田研究・地域連携本部長から、資料に基づき説明があった。
委員から、当該方針は研究倫理などのルールの遵守が主眼となっているが、その背景には学問の自由があり、ルールの遵守は学問の自由に伴う責任であることから、当該方針に学問の自由に伴う責任であるということを追記するか、追記しない場合は、学内で共通認識を確立するための対応が必要であるとの発言があった。
審議の結果、当該方針は原案のとおりとし、学問の自由に伴う責任については、これを踏まえた上で研究活動を推進していくこととされた。
- (12) 令和7年度計画（案）について
猪股企画本部長から、資料に基づき説明があった。
審議の結果、原案のとおり承認された。

協議事項

(1) 岩手県立大学、盛岡短期大学部、宮古短期大学部生成 AI の教学面での利用ガイドラインについて

高橋教育支援本部長から、資料に基づき説明があった。今後、技術や社会環境の変化に合わせて、修正しながら活用していくものであるとの補足説明があった。協議の結果、原案のとおり承認された。

(2) 「岩手県立大学ダイバーシティ&インクルージョン推進基本指針」の改訂 (Version 2) について

吉田人事給与課長から、資料に基づき説明があった。

委員から、基本指針で使用されている用語について、捉え方が曖昧になったり、関係者間で認識のずれが生じたりしないよう、既存の概念との関連付け等を丁寧に行う必要があるとの発言があった。

これについて、他の委員から、指針を更新する際に関係者に対して丁寧な説明を行い、関係者全員が同じ概念を共有することが大切であるとの発言があった。

協議の結果、原案のとおり承認された。

報告事項 (口頭報告)

(1) 「多様な性のあり方尊重委員会」の設置について

三上学生支援本部長から、資料に基づき説明があった。

(2) 令和6年度岩手県立大学の就職内定状況 (2月末現在) について

三上学生支援本部長から、資料に基づき説明があった。

(3) 共通研究棟 (仮称：第二地域連携棟) の供用について

亀田研究・地域連携本部長から、資料に基づき説明があった。

(4) 令和7年度北いわて地域活性化推進研究費研究の公募について

亀田研究・地域連携本部長から、資料に基づき説明があった。

(5) 令和7年度防災復興支援研究の公募について

亀田研究・地域連携本部長から、資料に基づき説明があった。

(6) 2024年度 APRIN eラーニングの履修状況について

亀田研究・地域連携本部長から、資料に基づき説明があった。

(7) 学部等の教育組織に係る課題の検討について

猪股企画本部長から、資料に基づき説明があった。

(8) 令和7年度「新入生アンケート」及び「2年次生アンケート」の実施について

猪股企画本部長から、資料に基づき説明があった。

(9) 学部等カラーの定義について

猪股企画本部長から、資料に基づき説明があった。

田中宮古短期大学部長から、宮古短期大学部のカラーについて、前身である岩手県立宮古短期大学の時代から使用しているスクールカラーであるとの補足説明があった。

(10) 「公立大学法人岩手県立大学利益相反審査規程」の制定について

吉田人事給与課長から、資料に基づき説明があった。

(11) 令和7年4月以降の部局長等の予定者について

高橋副学長から机上配布資料に基づき説明があった。

報告事項（資料報告）

- (1) 令和7年度岩手県立大学キャリア教育科目一覧の作成について（報告）
- (2) 令和6年度全学FD・SDプログラム第2回高等教育セミナー開催結果について
- (3) 岩手県立大学教学IRセンター規程の制定について
- (4) 令和7年度GPS-Academicの実施について
- (5) 岩手県立大学教職教育センター規程の制定について
- (6) 令和7（2025）年度 学年暦（滝沢・宮古）について
- (7) 令和7年度 岩手県立大学・盛岡短期大学部 新学期行事日程表
- (8) 令和6年度第4回学務調整会議の開催概要について
- (9) 大学院（第2次募集）選抜結果について
- (10) 令和6年度学生表彰「学長奨励賞」について
- (11) 令和6年度第3回学生支援委員会開催結果について
- (12) 令和6年度第3回就職支援連絡調整会議の開催結果について
- (13) 「とうほく・北海道自動車関連技術展示商談会」の出展結果について
- (14) 名誉教授の称号授与について

その他

なし